

グローバル・メタバース株式ファンド

運用報告書（全体版）

第4期（決算日 2026年1月20日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。
「グローバル・メタバース株式ファンド」は、2026年1月20日に第4期の決算を行ないましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。
今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	2022年3月31日から原則無期限です。	
運用方針	主として、「グローバル・メタバース株式マザーファンド」受益証券に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要運用対象	グローバル・メタバース株式ファンド	「グローバル・メタバース株式マザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。
	グローバル・メタバース株式マザーファンド	日本を含む世界の金融商品取引所上場株式（預託証券を含みます。）を主要投資対象とします。
組入制限	グローバル・メタバース株式ファンド	株式への実質投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。
	グローバル・メタバース株式マザーファンド	株式への投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	毎決算時、原則として分配対象額のなかから、基準価額水準、市況動向などを勘案して分配を行なう方針です。 ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行なわないこともあります。	

アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社

東京都港区赤坂九丁目7番1号
www.amova-am.com

2025年9月1日付で、日興アセットマネジメント株式会社から社名変更しました。

<645061>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター 電話番号：0120-25-1404
午前9時～午後5時 土、日、祝・休日は除きます。

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額				ファクトセット・メタバース・インダストリーズ・インデックス (配当込み、円ヘッジなし、円ベース)		株式組入比率	純資産総額
	(分配落)	税 分	込 配	み 金	期 騰	中 落		
(設定日)	円			円			%	百万円
2022年3月31日	10,000			—		100.00	—	3,229
1期(2023年1月20日)	6,984			0		81.78	△18.2	4,343
2期(2024年1月22日)	12,409			0		143.08	75.0	6,316
3期(2025年1月20日)	18,507			0		191.97	34.2	7,323
4期(2026年1月20日)	24,738			0		278.27	45.0	9,763

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

(注) ファクトセット・メタバース・インダストリーズ・インデックス(配当込み、円ヘッジなし、円ベース)は、ファクトセット社が開発した世界のデジタル環境の創造と実現を手掛ける企業の株式で構成された指数です。なお、設定時を100として2026年1月20日現在知りえた情報に基づいて指数化しています。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		ファクトセツト・メタバース・インダストリーズ・インデックス (配当込み、円ヘッジなし、円ベース) (参考指数)		株 組 入 比 率
	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率	
(期 首) 2025年1月20日	円	%		%	%
	18,507	—	191.97	—	97.4
1月末	19,624	6.0	196.63	2.4	97.7
2月末	17,953	△ 3.0	193.58	0.8	97.6
3月末	16,219	△12.4	186.16	△ 3.0	97.8
4月末	16,268	△12.1	174.16	△ 9.3	97.9
5月末	18,659	0.8	190.25	△ 0.9	98.0
6月末	21,626	16.9	207.41	8.0	97.8
7月末	23,783	28.5	222.97	16.1	97.2
8月末	24,414	31.9	223.54	16.4	97.2
9月末	26,233	41.7	245.43	27.8	96.6
10月末	26,783	44.7	271.12	41.2	97.1
11月末	25,192	36.1	258.72	34.8	98.5
12月末	24,825	34.1	264.91	38.0	98.3
(期 末) 2026年1月20日	24,738	33.7	278.27	45.0	98.3

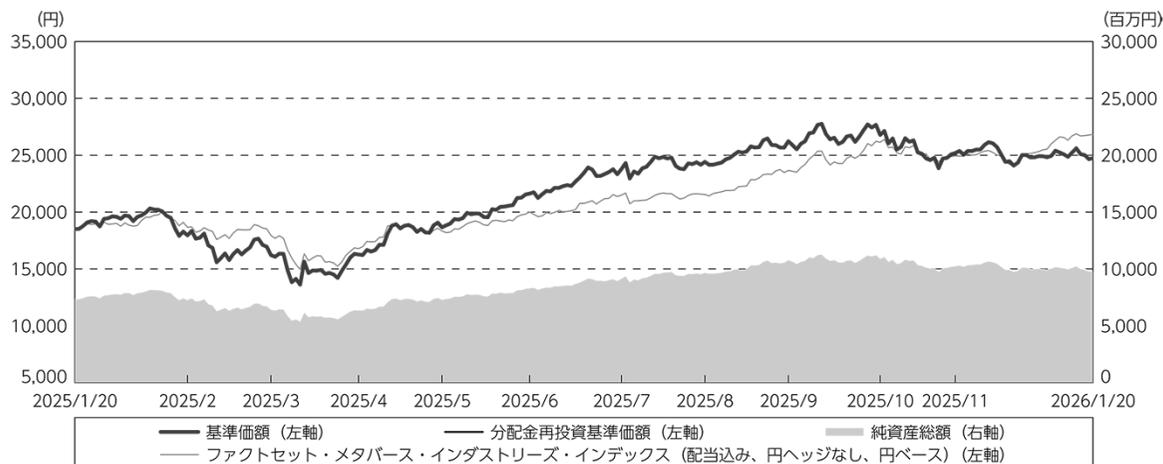
(注) 騰落率は期首比です。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しております。

○運用経過

(2025年1月21日～2026年1月20日)

期中の基準価額等の推移



期 首：18,507円

期 末：24,738円 (既払分配金(税込み)：0円)

騰落率： 33.7% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額およびファクトセット・メタバース・インダストリーズ・インデックス(配当込み、円ヘッジなし、円ベース)は、期首(2025年1月20日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) ファクトセット・メタバース・インダストリーズ・インデックス(配当込み、円ヘッジなし、円ベース)は当ファンドの参考指数です。

○基準価額の変動要因

当ファンドは、主として、日本を含む世界各国の金融商品取引所に上場されている、メタバースに関連するビジネスを行なう企業の株式に実質的に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行なっております。当作成期間中における基準価額の変動要因は、以下の通りです。

<値上がり要因>

- ・ AI (人工知能) の活用拡大を背景に企業業績の改善期待が高まり、主要株式市場が上昇したこと。
- ・ゲーミング、eコマース、クリエイター経済など、デジタルプラットフォーム企業において利用者エンゲージメントの拡大や収益化が確認されたこと。

<値下がり要因>

- ・暗号資産市場の調整を受けて、関連銘柄の株価が下落したこと。
- ・一部の保有銘柄において、利益率の低下懸念や競争環境の激化などを背景に、市場での先行き不透明感が懸念されたこと。

投資環境

(株式市況)

2025年前半の株式市場は、米国政権による前例のない関税政策の発表と、それに対する中国の迅速な報復措置を受けて、大きく調整しました。その後、2025年後半から2026年1月にかけては、米連邦準備制度理事会（FRB）による利下げ期待の高まりや、テクノロジー銘柄やAI関連銘柄が好調に推移したことを背景に、米国株式市場は上昇基調となりました。

インフレ率は総じて鈍化傾向を示し、FRBは段階的な利下げ局面を継続することが可能となりました。財政政策を巡る議論や地政学的リスクを背景に断続的な市場変動は見られたものの、個人消費の底堅さや企業収益の堅調さが下支えとなり、期間中の株式市場は上昇しました。

(為替市況)

期間中における主要通貨（対円）は、下記の推移となりました。



当ファンドのポートフォリオ

(当ファンド)

当ファンドは、「グローバル・メタバース株式マザーファンド」受益証券を高位に組み入れて運用を行ないました。

(グローバル・メタバース株式マザーファンド)

期間中の主な投資行動としては、イーサリアム（ETH：分散型アプリケーションのためのプラットフォームおよびその中で使用される暗号資産）関連のトレジャリー企業であるBitMine Immersion Technologies（ソフトウェア・サービス）を新規に組み入れました。ステーキング（暗号資産を保有しブロックチェーンネットワークに預け入れることで、その対価として報酬が得られる仕組み）関連活動、担保戦略、多様な資本市場の資金調達メカニズムを活用した積極的なETHの展開によって、1株あたりETH保有量の伸びを最大化することをめざしています。伝統的なスポット商品やETFとは異なり、企業は完全なステーキング参加が可能となり、実質利回りを向上させて、イーサリアムエコシステム内で資本効率を高めることができます。

また、アルファベット（メディア・娯楽）を新規に組み入れました。生成AIを通じて中核製品の転換に成功しており、従来のリサーチ機能にとどまらず検索能力を向上していると評価しています。同社の生成AIは急速に普及しています。ユーザー需要と基礎モデルにおける実行力を示しており、当ファンドでは長年その可能性を信じ、実行を待っていました。同時に、スマートフォンなどの画面に表示されているテキストや画像などを指で直接なぞることで検索できる機能や、ユーザーの検索結果の概要をAIが生成・表示する機能のようなイノベーションは、より直感的でマルチモーダル（複数の種類の情報を組み合わせて理解・処理する技術）な体験へのシフトを示しており、新たな検索機能およびユーザー行動を提供しています。この発展とクラウドコンピューティングサービスの成長加速が相まって、同社は収益基盤の多様化を進めるとともに、AIを搭載したコンピューティングの次の時代をリードし続けるとの見方を強めています。

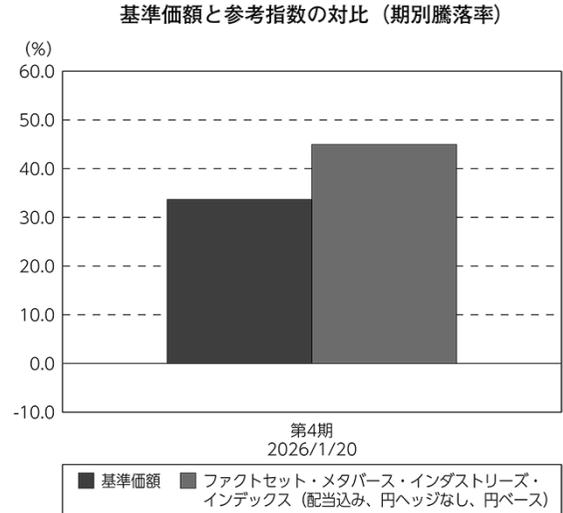
一方、広告収益化戦略に対する懸念を理由に、スナップ（メディア・娯楽）の保有を解消しました。ARPU（ユーザー1人あたりの平均収益）は引き続き予想を下回っており、ユーザーの効果的な収益化に課題があることが浮き彫りとなっています。

また、ナイキ（耐久消費財・アパレル）とソニーグループ（耐久消費財・アパレル）については、より確信度の高い銘柄へ投資するために保有を解消しました。

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

グラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税込み）込みです。

(注) ファクトセット・メタバース・インダストリーズ・インデックス（配当込み、円ヘッジなし、円ベース）は当ファンドの参考指数です。

分配金

分配金は、基準価額水準、市況動向などを勘案し、以下のとおりといたしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第4期
	2025年1月21日～ 2026年1月20日
当期分配金 (対基準価額比率)	— —%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	14,738

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

(当ファンド)

引き続き、ファンドの基本方針に則り、「グローバル・メタバース株式マザーファンド」受益証券を原則として高位に組み入れて運用を行ないます。

(グローバル・メタバース株式マザーファンド)

メタバースとは、高い双方向性を持ったオンライン体験を世界中の人々に提供するための、新しいテクノロジーの集合体であると考えています。AR（拡張現実）、VR（仮想現実）、Web3.0、次世代ハードウェアといった単一の技術ではなく、これらの技術が融合することによって実現される次世代のインターネットこそがメタバースであり、これが新たな消費者向けのオンライン体験の波を作り出ししていくと考えています。

人々がより多くの時間をオンライン上で過ごすようになるにしたがって、オフラインでの消費は今後10年以内に頭打ちとなる可能性があると考えています。AR／VRや次世代のハードウェア、インフラによる没入型の体験、そしてブロックチェーンによるデジタルオーナーシップ（デジタル上の所有権）の実現により、消費者はデジタル資産の価値を徐々に評価するようになり、最終的には現実の資産と同等以上とみなすようになると考えています。当ファンドでは、オンライン消費額が2030年までに12兆アメリカドル超にまで拡大する可能性があると考えています。

メタバースは決して短期的な投資アイデアではありません。現在、メタバースは初期段階にあり、関連技術のイノベーションが進み始めたところですが、初期の活用事例はデジタル・エンターテインメントを中心に展開されると考えています。そして時間の経過とともに規制や法律がデジタルオーナーシップに追いつき、バーチャル世界の領域が、デジタルツイン（仮想空間に現実空間と同じ環境を再現する技術）、AI／機械学習やシミュレーション、労働のトレーニングと能力開発などに応用され、ビジネスでの活用事例が拡大するとみられます。

主として、日本を含む世界各国の金融商品取引所に上場されている、メタバースに関連するビジネスを行なう企業の株式に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないます。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくごお願い申し上げます。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2025年1月21日～2026年1月20日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 392	% 1.798	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(192)	(0.880)	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	(192)	(0.880)	運用報告書など各種書類の送付、口内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価
（ 受 託 会 社 ）	(8)	(0.038)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	3	0.013	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（ 株 式 ）	(3)	(0.013)	
(c) 有 価 証 券 取 引 税	1	0.003	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（ 株 式 ）	(1)	(0.003)	
(d) そ の 他 費 用	18	0.083	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(7)	(0.030)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	(1)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ 印 刷 費 用 等 ）	(10)	(0.048)	印刷費用等は、法定開示資料の印刷に係る費用、運用において利用する指数の標章使用料など
合 計	414	1.897	
期中の平均基準価額は、21,798円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

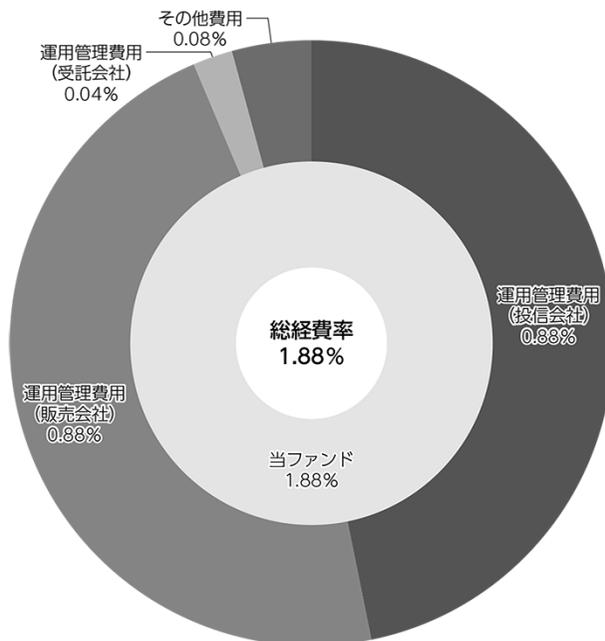
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.88%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 「その他費用」には保管費用が含まれる場合があります。なお、「その他費用」の内訳は「1万口当たりの費用明細」にてご確認いただけますが、期中の費用の総額と年率換算した値は一致しないことがあります。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2025年1月21日～2026年1月20日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
グローバル・メタバース株式マザーファンド	千口 493,797	千円 1,298,934	千口 558,862	千円 1,331,677

○株式売買比率

(2025年1月21日～2026年1月20日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当期	
	グローバル・メタバース株式マザーファンド	
(a) 期中の株式売買金額	6,318,067千円	
(b) 期中の平均組入株式時価総額	8,453,488千円	
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.74	

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注) 外国の取引金額は、各月末(決算日の属する月については決算日)の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算した金額の合計です。

○利害関係人との取引状況等

(2025年1月21日～2026年1月20日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2025年1月21日～2026年1月20日)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2025年1月21日～2026年1月20日)

該当事項はございません。

○組入資産の明細

(2026年1月20日現在)

親投資信託残高

銘柄	期首(前期末)	当期末	
	口数	口数	評価額
	千口	千口	千円
グローバル・メタバース株式マザーファンド	3,672,544	3,607,479	9,655,418

(注) 親投資信託の2026年1月20日現在の受益権総口数は、3,788,824千口です。

○投資信託財産の構成

(2026年1月20日現在)

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
グローバル・メタバース株式マザーファンド	9,655,418	97.0
コール・ローン等、その他	301,850	3.0
投資信託財産総額	9,957,268	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

(注) グローバル・メタバース株式マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(9,863,183千円)の投資信託財産総額(10,219,221千円)に対する比率は96.5%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1アメリカドル=158.19円、1ユーロ=184.09円、1香港ドル=20.28円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2026年1月20日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	9,957,268,287
コール・ローン等	223,315,306
グローバル・メタバース株式マザーファンド(評価額)	9,655,418,094
未収入金	78,530,366
未収利息	4,521
(B) 負債	193,498,924
未払解約金	98,513,374
未払信託報酬	90,609,564
その他未払費用	4,375,986
(C) 純資産総額(A-B)	9,763,769,363
元本	3,946,803,798
次期繰越損益金	5,816,965,565
(D) 受益権総口数	3,946,803,798口
1万口当たり基準価額(C/D)	24,738円

(注) 当ファンドの期首元本額は3,957,291,089円、期中追加設定元本額は1,513,404,998円、期中一部解約元本額は1,523,892,289円です。

(注) 1口当たり純資産額は2,4738円です。

○損益の状況 (2025年1月21日～2026年1月20日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	1,072,467
受取利息	1,072,467
(B) 有価証券売買損益	1,918,358,259
売買益	2,579,587,265
売買損	△ 661,229,006
(C) 信託報酬等	△ 160,532,939
(D) 当期損益金(A+B+C)	1,758,897,787
(E) 前期繰越損益金	2,352,769,772
(F) 追加信託差損益金	1,705,298,006
(配当等相当額)	(1,195,077,710)
(売買損益相当額)	(510,220,296)
(G) 計(D+E+F)	5,816,965,565
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G+H)	5,816,965,565
追加信託差損益金	1,705,298,006
(配当等相当額)	(1,195,614,769)
(売買損益相当額)	(509,683,237)
分配準備積立金	4,111,667,559

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 親投資信託の信託財産の運用の指図に係る権限の全部又は一部を委託するために要した費用のうち、2025年1月21日～2026年1月20日の期間に当ファンドが負担した費用は51,164,344円です。

(注) 分配金の計算過程(2025年1月21日～2026年1月20日)は以下の通りです。

項 目	2025年1月21日～ 2026年1月20日
a. 配当等収益(経費控除後)	18,825,381円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	1,740,072,406円
c. 信託約款に定める収益調整金	1,705,298,006円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	2,352,769,772円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	5,816,965,565円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	14,738円
g. 分配金	0円

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上し処理しています。

○分配金のお知らせ

1 万口当たり分配金 (税込み)	0円
------------------	----

○お知らせ

約款変更について

2025年1月21日から2026年1月20日までの期間に実施いたしました約款変更は以下の通りです。

- 当ファンドについて、運用報告書（全体版）は電磁的方法により提供する旨を定めている規定につき、投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に即した記載に変更するべく、2025年4月1日付けにて信託約款の一部に所要の変更を行ないました。（第60条）
- 当ファンドについて、2025年9月1日付けにて信託約款の一部に所要の変更を行ないました。
 - ①委託会社である当社がその社名を「日興アセットマネジメント株式会社」から「アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社」に変更いたしました。（第1条、第16条）
 - ②当社の社名変更に伴ない、電子公告を掲載する当社ホームページのURLを「www.nikkoam.com/」から「www.amova-am.com」に変更いたしました。（第59条）

当ファンドの主要投資対象先の直近の運用状況について、法令および諸規則に基づき、次ページ以降にご報告申し上げます。

グローバル・メタバース株式マザーファンド

運用報告書

第4期（決算日 2026年1月20日）
（2025年1月21日～2026年1月20日）

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	2022年3月31日から原則無期限です。
運用方針	主として、日本を含む世界の金融商品取引所上場株式に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要運用対象	日本を含む世界の金融商品取引所上場株式（預託証券を含みます。）を主要投資対象とします。
組入制限	株式への投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。

ファンド概要

主として、日本を含む世界各国の金融商品取引所に上場されている、メタバースに関連するビジネスを行なう企業の株式に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
株式の銘柄選定にあたっては、各企業の成長性、収益性、財務健全性、流動性などを勘案して行ないます。
株式の組入比率は、高位を維持することを基本とします。
外貨建資産への投資にあたっては、原則として為替ヘッジを行ないません。
ただし、市況動向に急激な変化が生じたとき、ならびに残存信託期間、残存元本が運用に支障をきたす水準となったときなどやむを得ない事情が発生した場合には、上記のような運用ができない場合があります。

アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社

<639175>

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額		ファクトセット・メタバース・インダストリーズ・インデックス (配当込み、円ヘッジなし、円ベース) (参考指数)		株組入比率	純資産額
	騰落	中率	騰落	中率		
(設定日) 2022年3月31日	円 10,000	% —	100.00	% —	% —	百万円 3,149
1期(2023年1月20日)	7,008	△29.9	81.78	△18.2	99.6	4,233
2期(2024年1月22日)	12,817	82.9	143.08	75.0	99.5	6,234
3期(2025年1月20日)	19,588	52.8	191.97	34.2	99.2	7,193
4期(2026年1月20日)	26,765	36.6	278.27	45.0	99.4	10,140

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

(注) ファクトセット・メタバース・インダストリーズ・インデックス（配当込み、円ヘッジなし、円ベース）は、ファクトセット社が開発した世界のデジタル環境の創造と実現を手掛ける企業の株式で構成された指数です。なお、設定時を100として2026年1月20日現在知りえた情報に基づいて指数化しています。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		ファクトセット・メタバース・インダストリーズ・インデックス (配当込み、円ヘッジなし、円ベース) (参考指数)		株組入比率
	騰落	率	騰落	率	
(期首) 2025年1月20日	円 19,588	% —	191.97	% —	% 99.2
1月末	20,801	6.2	196.63	2.4	99.2
2月末	19,021	△2.9	193.58	0.8	99.1
3月末	17,184	△12.3	186.16	△3.0	99.3
4月末	17,256	△11.9	174.16	△9.3	99.3
5月末	19,858	1.4	190.25	△0.9	99.3
6月末	23,104	17.9	207.41	8.0	99.3
7月末	25,484	30.1	222.97	16.1	99.3
8月末	26,214	33.8	223.54	16.4	99.3
9月末	28,261	44.3	245.43	27.8	99.3
10月末	28,902	47.5	271.12	41.2	99.3
11月末	27,191	38.8	258.72	34.8	99.4
12月末	26,833	37.0	264.91	38.0	99.3
(期末) 2026年1月20日	26,765	36.6	278.27	45.0	99.4

(注) 騰落率は期首比です。

○運用経過

(2025年1月21日～2026年1月20日)

基準価額の推移

期間の初め19,588円の基準価額は、期間末に26,765円となり、騰落率は+36.6%となりました。

基準価額の変動要因

期間中、基準価額に影響した主な要因は以下の通りです。

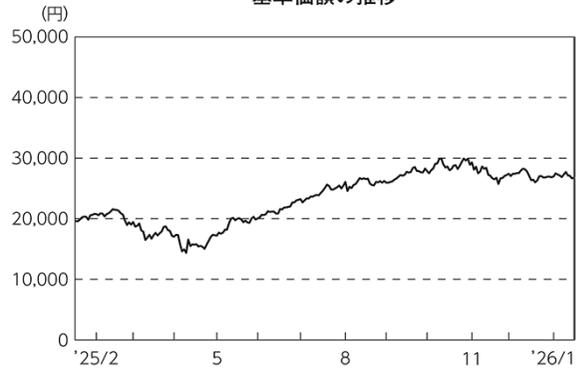
<値上がり要因>

- ・ AI（人工知能）の活用拡大を背景に企業業績の改善期待が高まり、主要株式市場が上昇したこと。
- ・ゲーミング、eコマース、クリエイター経済など、デジタルプラットフォーム企業において利用者エンゲージメントの拡大や収益化が確認されたこと。

<値下がり要因>

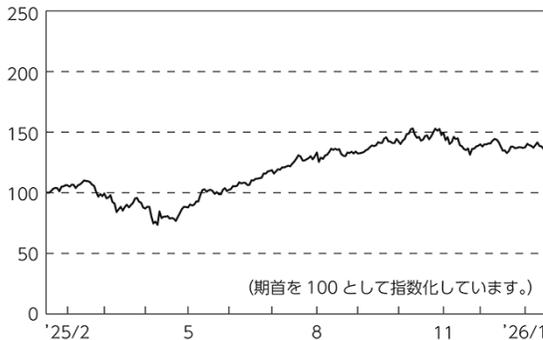
- ・暗号資産市場の調整を受けて、関連銘柄の株価が下落したこと。
- ・一部の保有銘柄において、利益率の低下懸念や競争環境の激化などを背景に、市場での先行き不透明感が懸念されたこと。

基準価額の推移



期首	期中高値	期中安値	期末
2025/01/20	2025/10/10	2025/04/09	2026/01/20
19,588円	29,957円	14,391円	26,765円

基準価額（指数化）の推移



ファクトセット・メタバース・インダストリーズ・インデックス (配当込み、円ヘッジなし、円ベース) (指数化) の推移



(株式市況)

2025年前半の株式市場は、米国政権による前例のない関税政策の発表と、それに対する中国の迅速な報復措置を受けて、大きく調整しました。その後、2025年後半から2026年1月にかけては、米連邦準備制度理事会（FRB）による利下げ期待の高まりや、テクノロジー銘柄やAI関連銘柄が好調に推移したことを背景に、米国株式市場は上昇基調となりました。

インフレ率は総じて鈍化傾向を示し、FRBは段階的な利下げ局面を継続することが可能となりました。財政政策を巡る議論や地政学的リスクを背景に断続的な市場変動は見られたものの、個人消費の底堅さや企業収益の堅調さが下支えとなり、期間中の株式市場は上昇しました。

(為替市況)

期間中における主要通貨（対円）は、下記の推移となりました。



ポートフォリオ

期間中の主な投資行動としては、イーサリアム（ETH：分散型アプリケーションのためのプラットフォームおよびその中で使用される暗号資産）関連のトレジャリー企業であるBitMine Immersion Technologies（ソフトウェア・サービス）を新規に組み入れました。ステーキング（暗号資産を保有しブロックチェーンネットワークに預け入れることで、その対価として報酬が得られる仕組み）関連活動、担保戦略、多様な資本市場の資金調達メカニズムを活用した積極的なETHの展開によって、1株あたりETH保有量の伸びを最大化することをめざしています。伝統的なスポット商品やETFとは異なり、企業は完全なステーキング参加が可能となり、実質利回りを向上させて、イーサリアムエコシステム内で資本効率を高めることができます。

また、アルファベット（メディア・娯楽）を新規に組み入れました。生成AIを通じて中核製品の転換に成功しており、従来のリサーチ機能にとどまらず検索能力を向上していると評価しています。同社の生成AIは急速に普及しています。ユーザー需要と基礎モデルにおける実行力を示しており、当ファンドでは長年その可能性を信じ、実行を待っていました。同時に、スマートフォンなどの画面に表示されているテキストや画像などを指で直接なぞることで検索できる機能や、ユーザーの検索結果の概要をAIが生成・表示する機能のようなイノベーションは、より直感的でマルチモーダル（複数の種類の情報を組み合わせる技術）な体験へのシフトを示しており、新たな検索機能およびユーザー行動を提供しています。この発展とクラウドコンピューティングサービスの成長加速が相まって、同社は収益基盤の多様化を進めるとともに、AIを搭載したコンピューティングの次の時代をリードし続けるとの見方を強めています。

一方、広告収益化戦略に対する懸念を理由に、スナップ（メディア・娯楽）の保有を解消しました。ARPU

(ユーザー1人あたりの平均収益)は引き続き予想を下回っており、ユーザーの効果的な収益化に課題があることが浮き彫りとなっています。

また、ナイキ(耐久消費財・アパレル)とソニーグループ(耐久消費財・アパレル)については、より確信度の高い銘柄へ投資するために保有を解消しました。

○今後の運用方針

メタバースとは、高い双方向性を持ったオンライン体験を世界中の人々に提供するための、新しいテクノロジーの集合体であると考えています。AR(拡張現実)、VR(仮想現実)、Web3.0、次世代ハードウェアといった単一の技術ではなく、これらの技術が融合することによって実現される次世代のインターネットこそがメタバースであり、これが新たな消費者向けのオンライン体験の波を作り出ししていくと考えています。

人々がより多くの時間をオンライン上で過ごすようになるにしたがって、オフラインでの消費は今後10年以内に頭打ちとなる可能性があると考えています。AR/VRや次世代のハードウェア、インフラによる没入型の体験、そしてブロックチェーンによるデジタルオーナーシップ(デジタル上の所有権)の実現により、消費者はデジタル資産の価値を徐々に評価するようになり、最終的には現実の資産と同等以上とみなすようになると考えています。当ファンドでは、オンライン消費額が2030年までに12兆アメリカドル超にまで拡大する可能性があると考えています。

メタバースは決して短期的な投資アイデアではありません。現在、メタバースは初期段階にあり、関連技術のイノベーションが進み始めたところですが、初期の活用事例はデジタル・エンターテインメントを中心に展開されると考えています。そして時間の経過とともに規制や法律がデジタルオーナーシップに追いつき、バーチャル世界の領域が、デジタルツイン(仮想空間に現実空間と同じ環境を再現する技術)、AI/機械学習やシミュレーション、労働のトレーニングと能力開発などに応用され、ビジネスでの活用事例が拡大するとみられます。

主として、日本を含む世界各国の金融商品取引所に上場されている、メタバースに関連するビジネスを行なう企業の株式に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないます。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2025年1月21日～2026年1月20日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	円 3 (3)	% 0.013 (0.013)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式)	1 (1)	0.003 (0.003)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用)	7 (7)	0.031 (0.031)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
合 計	11	0.047	
期中の平均基準価額は、23,342円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2025年1月21日～2026年1月20日)

株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
国 内	上場	千株	千円	千株	千円
		63 (3)	43,040 (-)	22	77,471
外 国	アメリカ	百株 2,348 (117)	千アメリカドル 21,760 (-)	百株 2,161	千アメリカドル 18,713
	ユーロ フランス	14	千ユーロ 365	109	千ユーロ 119
	香港	6	千香港ドル 384	6	千香港ドル 306

(注) 金額は受け渡し代金。

(注) ()内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○株式売買比率

(2025年1月21日～2026年1月20日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	6,318,067千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	8,453,488千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.74

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注) 外国の取引金額は、各月末（決算日の属する月については決算日）の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算した金額の合計です。

○利害関係人との取引状況等

(2025年1月21日～2026年1月20日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況（2025年1月21日～2026年1月20日）

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

○組入資産の明細

(2026年1月20日現在)

国内株式

銘柄	期首(前期末)		当 期		末
	株 数	株 数	株 数	株 数	評 価 額
		千株		千株	千円
機械（－％）					
セガサミーホールディングス		6.8		—	—
電気機器（－％）					
ソニーグループ		9.5		—	—
その他製品（42.6％）					
任天堂		13.8		13.1	136,829
情報・通信業（57.4％）					
ネクソン		32.2		32.5	137,995
LINEヤフー		19.3		77.3	31,306
スクウェア・エニックス・ホールディングス		2.3		5.4	15,387
合 計	株 数 ・ 金 額	83	128		321,518
	銘柄 数 < 比 率 >	6	4		< 3.2% >

(注) 銘柄欄の()内は、国内株式の評価総額に対する各業種の比率。

(注) 評価額欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

外国株式

銘柄	株数	当期		期末		業種等
		株数	株数	評価額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	百株	百株	千アメリカドル	千円		
ALIBABA GROUP HOLDING-SP-ADR	—	36	604	95,579	一般消費財・サービス流通・小売り	
CLOUDFLARE INC-CLASS A	124	122	2,257	357,122	ソフトウェア・サービス	
FIGMA INC-CL A	—	135	400	63,373	ソフトウェア・サービス	
NIKE INC -CL B	49	—	—	—	耐久消費財・アパレル	
PINTEREST INC- CLASS A	388	525	1,360	215,251	メディア・娯楽	
PURE STORAGE INC - CLASS A	99	113	826	130,704	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	
REDDIT INC-CL A	91	48	1,113	176,212	メディア・娯楽	
ROBLOX CORP -CLASS A	665	490	4,279	677,003	メディア・娯楽	
SEA LTD-ADR	133	139	1,691	267,617	一般消費財・サービス流通・小売り	
SHOPIFY INC - CLASS A	223	240	3,746	592,651	ソフトウェア・サービス	
SNAP INC - A	508	—	—	—	メディア・娯楽	
SPOTIFY TECHNOLOGY SA	36	35	1,800	284,750	メディア・娯楽	
TAIWAN SEMICONDUCTOR-SP ADR	83	116	3,973	628,576	半導体・半導体製造装置	
THE WALT DISNEY CO.	83	86	965	152,669	メディア・娯楽	
UNITY SOFTWARE INC	1,085	1,079	4,419	699,112	ソフトウェア・サービス	
BITMINE IMMERSION TECHNOLOGI	—	548	1,709	270,376	ソフトウェア・サービス	
ADOBE INC	6	6	202	32,087	ソフトウェア・サービス	
ADVANCED MICRO DEVICES	90	181	4,217	667,231	半導体・半導体製造装置	
AMAZON.COM INC	69	84	2,028	320,919	一般消費財・サービス流通・小売り	
ANSYS INC	2	—	—	—	ソフトウェア・サービス	
APPLE INC	39	40	1,035	163,871	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	
AUTODESK INC	13	14	373	59,009	ソフトウェア・サービス	
BAIDU INC - SPON ADR	—	71	1,062	168,086	メディア・娯楽	
BROADCOM INC	—	14	494	78,225	半導体・半導体製造装置	
COINBASE GLOBAL INC -CLASS A	126	128	3,089	488,784	金融サービス	
COREWEAVE INC-CL A	—	35	355	56,207	ソフトウェア・サービス	
CROWDSTRIKE HOLDINGS INC - A	37	39	1,780	281,668	ソフトウェア・サービス	
META PLATFORMS INC-CLASS A	65	63	3,920	620,199	メディア・娯楽	
ALPHABET INC-CL C	—	50	1,667	263,790	メディア・娯楽	
MICROSOFT CORP	17	17	810	128,177	ソフトウェア・サービス	
NETFLIX INC	11	132	1,164	184,185	メディア・娯楽	
DRAFTKINGS INC-CL A	132	265	864	136,811	消費者サービス	
NVIDIA CORP	64	81	1,523	240,980	半導体・半導体製造装置	
QUALCOMM INC	36	49	790	124,983	半導体・半導体製造装置	
ROBINHOOD MARKETS INC - A	687	271	2,947	466,266	金融サービス	
SYNOPSIS INC	6	11	578	91,557	ソフトウェア・サービス	
TAKE-TWO INTERACTIVE SOFTWARE	63	74	1,777	281,109	メディア・娯楽	
小計	株数・金額	5,046	5,349	59,834	9,465,155	
	銘柄数<比率>	30	34	—	<93.3%>	
(ユーロ…フランス)				千ユーロ		
ESSILORLUXOTTICA	19	32	872	160,588	ヘルスケア機器・サービス	
UBISOFT ENTERTAINMENT	108	—	—	—	メディア・娯楽	
ユーロ計	株数・金額	128	32	872	160,588	
	銘柄数<比率>	2	1	—	<1.6%>	

銘柄	期首(前期末)	当 期 末		業 種 等	
		株 数	株 数		評 価 額
				外貨建金額	邦貨換算金額
				千香港ドル	千円
(香港) TENCENT HOLDINGS LTD	百株 111	百株 111	6,771	137,315	メディア・娯楽
小 計	株 数 ・ 金 額 銘柄 数 < 比 率 >	111 1	6,771 1	137,315 <1.4%>	
合 計	株 数 ・ 金 額 銘柄 数 < 比 率 >	5,285 33	5,493 36	9,763,059 <96.3%>	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 邦貨換算金額欄の< >内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

○投資信託財産の構成

(2026年1月20日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株式	千円 10,084,578	% 98.7
コール・ローン等、その他	134,643	1.3
投資信託財産総額	10,219,221	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

(注) 当期末における外貨建純資産(9,863,183千円)の投資信託財産総額(10,219,221千円)に対する比率は96.5%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1アメリカドル=158.19円、1ユーロ=184.09円、1香港ドル=20.28円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2026年1月20日現在)

項 目	当 期 末	円
(A) 資産	10,219,221,546	
コール・ローン等	49,213,162	
株式(評価額)	10,084,578,091	
未収入金	84,490,614	
未収配当金	939,000	
未収利息	679	
(B) 負債	78,530,366	
未払解約金	78,530,366	
(C) 純資産総額(A-B)	10,140,691,180	
元本	3,788,824,459	
次期繰越損益金	6,351,866,721	
(D) 受益権総口数	3,788,824,459口	
1万口当たり基準価額(C/D)	26,765円	

(注) 当ファンドの期首元本額は3,672,544,200円、期中追加設定元本額は675,142,727円、期中一部解約元本額は558,862,468円です。

(注) 2026年1月20日現在の元本の内訳は以下の通りです。

・グローバル・メタバース株式ファンド 3,607,479,206円
 ・【買付】グローバル・メタバース株式ファンド(為替ヘッジあり・道徳機関投資家向け) 181,345,253円

(注) 1口当たり純資産額は2.6765円です。

○損益の状況 (2025年1月21日～2026年1月20日)

項 目	当 期	円
(A) 配当等収益	19,910,444	
受取配当金	17,968,360	
受取利息	1,647,168	
その他収益金	294,916	
(B) 有価証券売買損益	2,467,312,880	
売買益	2,921,582,669	
売買損	△ 454,269,789	
(C) 保管費用等	△ 2,737,356	
(D) 当期損益金(A+B+C)	2,484,485,968	
(E) 前期繰越損益金	3,521,403,532	
(F) 追加信託差損益金	1,118,791,914	
(G) 解約差損益金	△ 772,814,693	
(H) 計(D+E+F+G)	6,351,866,721	
次期繰越損益金(H)	6,351,866,721	

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上し処理しています。

○お知らせ

約款変更について

2025年1月21日から2026年1月20日までの期間に実施いたしました約款変更は以下の通りです。

- 当ファンドについて、2025年9月1日付けにて信託約款の一部に所要の変更を行ないました。
 - ①委託会社である当社がその社名を「日興アセットマネジメント株式会社」から「アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社」に変更いたしました。(第1条、第6条)
 - ②「日興アセットマネジメント アメリカズ・インク」に運用指図権限を委託しておりますが、当社の社名変更に伴ない、当該運用委託先の社名を「アモーヴァ・アセットマネジメント・アメリカズインク」に変更いたしました。(第16条)
 - ③法定運用報告書の交付は行なわない旨を定めている規定につき、投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に即した記載に変更するべく、変更を行ないました。(第51条)
 - ④当社の社名変更に伴ない、電子公告を掲載する当社ホームページのURLを「www.nikkoam.com/」から「www.amova-am.com」に変更いたしました。(第53条)